

# もしもの話を もっと身近に ～元気な時からその人生会議～

**参加無料**  
**事前申込不要**  
**先着1000名**  
当日定員になり次第、  
受付終了となります。

人生の最終段階の医療・ケアのテーマに、「もしも手帳」で全国的に有名な蔵本浩一氏のお話しを通じて、人生の最終段階の医療・ケアを元気な時から考えておく意義や、家族や身近な人と共有すること（アドバンス・ケア・プランニング）の大切さをお伝えします。

令和2年 **3月19日(木)** 午後**2時**～4時 (午後1時30分開場予定)

亀田総合病院 疼痛・緩和ケア科医長 地域医療連携室室長  
一般社団法人 iACP 共同代表

医師 **蔵本浩一** 氏

急性期総合病院の緩和ケア医。アドバンス・ケア・プランニングのあり方を考える啓発活動を行っており、余命がわずか想定して自らの価値観を考え対話するカードゲーム（もしも手帳ゲーム）の開発者。



**場所：横浜関内ホール 大ホール**

- (横浜市中区住吉町 4 丁目 42-1)
  - ◆JR「関内」駅 北口から徒歩 5 分
  - ◆みなとみらい線「馬車道」駅 5 番出口から徒歩 5 分
  - ◆地下鉄ブルーライン「関内」駅 9 番出口から徒歩 3 分
- ※提携駐車場はございません。公共交通機関にてお越しください。



**車いすのご利用、手話通訳が必要な方は  
事前にご連絡をお願いします。**

主催・問合せ：横浜市医療局がん・疾病対策課 在宅医療担当  
Tel 045-671-2444 Fax 045-664-3851  
共催：一般社団法人 横浜市医師会

●当日の様様をライブ中継します！ [市民啓発講演会 横浜](#) [検索](#)

御来場の方には、人生の最終段階における医療やケアの希望を書き込める**横浜市オリジナル「もしも手帳」(お薬手帳カバー付き)**をもれなくプレゼントします。(おひとり様につき1部)